

◆団体基本情報

| | | | | | | | |
|----------|--|----|-----------|---------------------|------------------|----------|----------------|
| No. | 6 | 種別 | 公益財団法人 | 団体名 | 公益財団法人仙台市健康福祉事業団 | | |
| 所在地 | 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1丁目3-2 | | | | | | |
| 電話番号 | 022-215-3192 | | FAX番号 | 022-215-4140 | | 所管 部局 | 健康福祉局 高齢企画課 |
| 団体ホームページ | https://www.senkenhuku.com/ | | | | | | |
| 代表者職氏名 | 理事長 小林 仁 | | | 設立年月日 | 平成3年3月28日 | | |
| 資本金・基本財産 | 200,000 千円 | | 市の出捐額(割合) | 200,000 千円 (100.0%) | | | |
| 設立目的 | 仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会(豊齢化社会)の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援, 介護知識の普及等を行い, もって市民福祉の向上を図ること。 | | | | | | |
| 事業概要 | <ul style="list-style-type: none"> 市民の健康福祉意識の醸成及び啓発 市民の生きがい及び健康づくりの支援 高齢者等の介護に関する研修 仙台市等から委託を受けて行う要介護認定等に係る認定調査 仙台市からの指定を受けて行う「仙台市シルバーセンター」及び「仙台市健康増進センター」の管理運営 | | | | | | |
| 評価対象決算期 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日 | | | | | | |

◆人員等の状況

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------|----------|----------|----------|
| ①常勤役員数 | 2 人 | 2 人 | 2 人 |
| うち市派遣 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 市退職者 | 2 人 | 2 人 | 2 人 |
| ②常勤役員平均年齢 | 61.5 歳 | 62.5 歳 | 63.5 歳 |
| ③常勤役員平均年間報酬 | 5,329 千円 | 5,174 千円 | 5,132 千円 |
| ④職員数 | 137 人 | 139 人 | 138 人 |
| うち市派遣 | 0 人 | 0 人 | 0 人 |
| 市退職者 | 2 人 | 2 人 | 2 人 |
| ⑤職員平均年齢 | 48.7 歳 | 49.2 歳 | 50.4 歳 |
| ⑥職員平均年間給与 | 3,935 千円 | 3,966 千円 | 3,937 千円 |

◆主要財務データ

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------------|-------------|------------|------------|
| ①当期経常増減額 | △ 12,031 千円 | △ 1,491 千円 | △ 1,020 千円 |
| ②当期経常外増減額 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| ③当期一般正味財産増減額 | △ 12,155 千円 | △ 1,823 千円 | △ 1,242 千円 |
| ④一般正味財産期末残高 | 6,944 千円 | 5,121 千円 | 3,878 千円 |
| ⑤指定正味財産期末残高 | 200,000 千円 | 200,000 千円 | 200,000 千円 |
| ⑥正味財産期末残高 | 206,944 千円 | 205,121 千円 | 203,878 千円 |
| ⑦長期借入金残高 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

◆市の財政的関与

| | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------------|------------|------------|------------|
| ①市からの補助金 | 187,406 千円 | 177,094 千円 | 174,943 千円 |
| ②市からの委託料(指定管理料含む) | 821,205 千円 | 856,279 千円 | 871,433 千円 |
| ③市に対する収入依存度 | 98.21 % | 99.43 % | 99.32 % |
| ④市からの借入金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| ⑤市からの債務保証に係る債務残高 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| ⑥市からの損失補償に係る債務残高 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |

◆主要事業一覧及び概要

| 事業名 | 事業概要 | 令和3年度事業費 |
|----------------|--|------------|
| 訪問調査受託事業 | 仙台市及び他市町村から委託を受けて行う要介護認定及び障害支援区分認定のための訪問調査 | 403,277 千円 |
| 健康増進センター管理運営事業 | 施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、生活習慣病予防・障害者の健康づくり・介護予防等の事業 | 204,320 千円 |
| シルバーセンター管理運営事業 | 施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、総合相談等 | 202,144 千円 |
| いきがい健康づくり事業 | 豊齢化社会づくりの柱である、市民の生きがいづくり、健康づくりを支援するための各種事業 | 125,164 千円 |
| 介護研修管理運営事業 | 市民及び介護職を対象とした介護研修、福祉用具の展示、介護・福祉用具等に関する相談及び情報提供 | 45,613 千円 |

◆経営評価の総括

| 項目 | 外郭団体による総括 | 所管局によるコメント |
|-----------------------|--|---|
| 1. 公益的使命・市が期待する役割への対応 | 高齢者の生きがいづくり支援や社会とのつながりを持てるよう情報や活動機会の提供を行った。また、家庭や地域での介護力の強化を図るため各種介護講座の充実、介護予防・認知機能低下予防のための高齢者運動教室の開催、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康づくり、要介護認定等訪問調査を引き続き実施した。インターネット等を活用し非対面でコミュニケーションを行う事業手法を通じ、制約のある状況下でも事業を継続する体制を整えて参りたい。 | 昨年度に引き続き、インターネットを活用した地域社会貢献活動の担い手となる高齢者の人材育成や介護予防・認知機能低下予防のための事業等に取り組み、また新たな情報発信として福祉用具の紹介など、仙台市の施策や市民ニーズを意識した事業展開を行っており、引き続きその公益的使命を果たしていただきたい。 |
| 2. 業務・組織管理 | 事業団独自のコンプライアンス行動規範集の活用、自己点検や研修を通じて職員の倫理及び服務規律の確保を引き続き行った。また、中期事業計画重点項目である認知症対策推進のため、職員研修を行うとともに各課連携による催事を実施するなど計画の達成に向け組織的に取り組んだ。期央に実施する事業・予算の進捗・執行状況の確認、及び人事評価制度による適正な人事管理と効果的な人材育成を行い、事業の確実な実施と環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の向上に努めた。 | 独自のコンプライアンス行動規範集や自己点検・研修等の取り組みが図られており、法令順守・不正防止体制が整備されている。また、職員の評価・給与制度等の見直しによる組織の活性化と効率化に引き続き取り組まれない。 |
| 3. 財務状況 | 適正な受益者負担を図るため、自主事業の講座受講料を所要経費に応じた水準に設定し、事業収入の確保に努めた。仙台市からの補助金、委託料が収入の大部分を占める状況に変わりはないが、今後とも計画的・効率的な予算の執行に努めて参りたい。 | 財務状況について、本市からの委託料及び補助金が収入の大部分を占めているが、経営安定化や雇用条件の見直しによる財務基盤の強化を引き続き行っていただきたい。 |
| 4. 今後の方向性及び課題 | 新型コロナウイルス感染症の流行下で高齢者の社会参加が抑制されるなどの課題がある中で、高齢者が自分らしく暮らし続けられる地域づくりが一層望まれている。仙台市高齢者保健福祉計画及び中期事業計画に基づいて実施してきた介護予防や健康づくりへの取り組み、認知症対策の推進等をより効果的に実施するため、地域や事業所との連携及びICTの活用等により個人でも取り組める多様な社会参加方法を提供するなど、社会情勢や市民のニーズに合わせた事業運営に取り組んで参りたい。 | コロナ禍に対応するため、新たな試みとして動画の配信を行うなど、社会情勢や高齢者のニーズの移り変わりを踏まえた取り組みが行われている。今後も高齢者の生きがい・健康づくりの拠点としての役割を果たすことはもとより、拠点へ足を運ばない高齢者に対してアウトリーチによるアプローチを行うなど、そのノウハウや人材を生かした新たな取り組みを期待する。 |